

未来予想図

学習点1（10）点の重み

かつて道内公立高校一般入試は、各教科の60点満点の5教科計300点満点でした。

理由は学習点（ランク）が315点満点で、入試得点と学習点（ランク）をほぼ同等（1：1）に扱うための措置でした。

しかし、5年前より各教科100点満点の5教科計500点満点へ変更されました。北海道では、この500点満点の入試得点を「学力点」とよんでおります。

一方、学習点は3年間オール5の場合、315点（Aランク）となり、これまでと変わりはありません。

学力点（入試点）が300点だった時代は、学力点（300点満点）と学習点（315点満点）を同等（1：1）に扱っておりましたが、学力点の満点が500点となったため、学力点に0.63を乗じ、学力点を315点満点に換算して入学者選抜資料とする規則に変更されております。

学力点に0.63を乗じて315点満点とするということは、学力点を500点と固定した場合、学習点の315点に1.59（約1.6）を乗じることとなります。

つまり、学習点の1点差を挽回するためには入試点で1.6点、学習点の10点差を挽回するためには入試点で16点が必要なのです。

学習点と学力点（入試点）の比重は、これまでとは変わらない1：1なのですが、学習点で10点差をつけられてしまった場合、入試点で16点を挽回するのはとても大変なことといえます。実際、今春の本校卒業生の入試結果を分析すると入試で大きな失敗をしたのですが、学習点で救われ、合格切符を手にした生徒も多々おりました。

学習点を伸ばすために学習をするわけではありませんが、学習点を伸ばしておくことは公立高校入試ではとても大切なことなのです。

5年前まで

学習点（ランク） 学力点（入試得点）

315

300

■学習点1（10）点の差は学力点1（10）点の差

現在

学習点（ランク） 学力点（入試得点）

315

500

■学習点1（10）点の差は学力点1.6点（16）の差

裏面に入試における事例を具体的な数字を使って説明しておきます。

●入試における事例

生徒A	学習点295点 (Bランク)	学力点 (入試得点) 321点	合格
生徒B	学習点276点 (Bランク)	学力点 (入試得点) 341点	不合格

生徒Aも生徒BもBランク、大した差ではないように思われます。入試では、生徒Bは生徒Aより20点も多く得点をとりました。しかし、結果は生徒Aは合格、生徒Bは不合格でした。前頁(ページ)の学習点に1.59を乗じる方法で計算してみましょう。

生徒Aは、 $295 \times 1.59 + 321 = 790.05$

生徒Bは、 $276 \times 1.59 + 341 = 779.84$ となります。

生徒Aは生徒Bに10ポイント以上の差をつけており、合格できたのです。

仮に生徒Bは入試得点で351点をとっていても $276 \times 1.59 + 351 = 789.84$ となり、生徒Aを上回ることにはできません。つまり、出願の段階で生徒Aと生徒Bは入試得点30点分以上ののハンデがあったのです。

【高校生進学支援の会】=新しい学校選びフェア(対象=中学生、保護者)

本日、高校生進学支援の会からいただいたプリントを3年生全員に配布しました。

プリントには、4月25日(土)に開催される新しい学校選びフェアについて記されております。

新しい学校選びフェアの参加希望者はプリントに記されているQRコードにて各自で申し込みください。(中学校への連絡は不要です。)

☉coffee break 鎌倉の由来

修学旅行2日目の6月1日(月)は鎌倉で自主研修を行います。

そこで今号では、鎌倉の名の由来についてコヒーブレイク!

鎌倉の「鎌」は「かまど」、「倉」は「谷」を意味します。鎌倉市街の東、西、北はかまどのように山に囲まれ、南は海で谷のようになっているためです。(由来は諸説あります。)

なお、江ノ島は関東地震が起こる前は完全な島でした。関東地震により隆起し、江ノ島は陸続きとなったのです。こうした地形を砂嘴(さし)とよんでおります。

自主研修で美味しいものを食べるのもよいですが、鎌倉の社会科学や自然科学等についてもしっかりと学んでみましょう。

